

地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は…
役場企画財政課広報統計係 ☎(86)1134[直通]



↑風物詩となるアオサの収穫風景

アオサ収穫がピーク 品質も向上

2月から3月にかけて、町内ではアオサの収穫が最盛期を迎えています。

茅屋集落では、昨年からアオサの生産を始め、現在、5業者が取り組んでいます。

3月2日の早朝、吉武浩一さんら総勢7人は収穫作業を開始。船上に積まれた摘み取り機で海面に張られた網を巻き上げると、深い緑色のアオサがびっしりと付いていました。

吉武さんは「今年は水温が高く、管理が難しかったが、良質に育ってくれた」とコンテナいっぱいのアオサに満足の様子でした。

川床中学校で鰯王料理教室

料理を通して郷土を知る

2月21日、川床中学校（脇田武志校長・53人）の2年生15人を対象に東町漁協の養殖業者会を招き、鰯王料理教室が行われました。

これは特産品の「鰯王」を教材に、生徒が生産者から調理の指導を受けて、地域の食文化と郷土の理解につなげることを目的としたものです。

生徒は会員から、ブリの各部位についての説明やさばき方の指導を受け、ブリさばきに挑戦しました。

松永侑奈さんは「ブリをさばくのは難しかったけど、長島の特産品を扱えて良かった」と話しました。



↑真剣な目でブリをさばく生徒



↑グループ学習を楽しむ児童たち

小学校の三校交流学習 児童が交流を深める

鷹巣小学校（大野憲久校長・196人）と伊唐小学校（久保和久校長・16人）、獅子島小中学校（金子哲之校長・43人）の児童が一同に集い、一緒に学習したり遊んだりすることで、交流を深める交流学習が2月13日、鷹巣小学校で行われました。

この日は3校の児童が各学年ごとに分かれ、一緒に授業を受けたり、給食を食べたりして普段、なかなか会えない友だちとの交流を楽しみました。

鷹巣小6年生の立野麟太郎君は「久しぶりの友だちと一緒に算数の授業を受けて、うれしかった」と充実した様子でした。